

2018年度地域まるごとケア・プロジェクト地域人材交流研修会 in けせんぬま報告書 「地域まるごとで支えよう おらほの宝（たがら）」参加者アンケート集計結果

参加者数：36名 アンケート回答者数：20名

1. 研修会に参加していかがでしたか？

- a. とてもよかった 8
- b. よかった 8
- c. ふつう 2
- d. よくなかった 0
- e. 無回答 2

2. 研修会の開催をどのようにしてお知りになりましたか？

- a. ちらし 4
- b. ホームページ 1
- c. インターネットの記事 2
- d. 友達の紹介 0
- e. 新聞などの紹介記事 2
- f. その他 14

3. この研修会へ参加してみようと思った理由をおきかせください。

- ・他の委員さんにお誘いを受けたので。
 - ・表題にひかれて話を聞いてみようと思いました。
 - ・鹿折地区の地域作りにかかわりたいと思っていました。
 - ・主任児童委員という立場もあり参加したのと、孫を毎日みているので、勉強してみたいと思い参加しました。
 - ・今の子育てはどのようにするのか、を勉強したかった。
 - 私の子育てとはまるで違うようだ。
 - ・民生委員として育児等について学びたかった
 - ・研修会のネーミング
 - ・包括支援について、子どもをはじめ高齢者問題まで考える機会になると思った。
 - ・子どものことも少し考えてみようと思って。
 - ・気仙沼になかなか根付かない地域内でのヨコ×タテ連携を模索したい！
 - ・今後のまちづくりに生かすため
 - ・少子高齢化の地域で子どもを大切に育てたい思いから。
 - ・想いを紙におこしたので実現しそうな予感。
 - ・気持ちの整理ができた。
 - ・ひ孫（孫の子ども）が4人いるので、何か参考になれば良いと思って。
 - ・地域包括ケアを子どもをテーマに話す内容だったから。
 - ・実践報告を聞いてみたいと思いました」
 - ・若い人の子育てについての考えを知りたかった。
 - ・地域まるごとケアとは？
- つながりの強い地域ではあるが、全体、まるごととは？分解すればやりやすいかな。

4. 研修会の感想をお聞かせください。

- ・他の地域のとりくみを聞かせていただき良かったです。
- ・1部は耳からだけだったので理解に時間がかかった。ペーパーでの資料が少しでもあったら良かった。
- 2部ではリーダー（コーディネーター）不在だったので話がうまく廻らないのが残念。
- ・とても参考になりました
- ・みちかなところからの地域作りがわかり、とても勉強になった。
- ・色々話せ、色々な意見が聞けて良かった。
- ・皆さんのいろいろな意見を聞いて、今後、地域の集いの参考にしたいと思います。
- ・それぞれの地域と行政がことなると思います。
- ・とても有意義であった。視界が広がる思いがした。
- ・すでに行っているところ、これから始めようと思っているところいろいろなアイデアをいただいた
- ・いろいろな話を聞くことができて勉強になりました。
- ・子育てから離れて何年？昔の事を思い出しながら、いろいろ考えさせら

れました。

- ・地域を知り合う良い機会でした。
- ・たくさんの人の意見が聞けて良かった。
- ・楽しく本音が出た会だと思います。
- ・主催者側、スタッフの皆さんと会えてよかった。
- ・なかなか普段話せない方と話せて意見交換できてよかった。
- ・自分の子育ては終了しているので、久しぶりに子育てだった時期を思い出したら、現代のお母様方の子育ての違い等を感じました（若い感覚を感じました
- ・もっと行政や社協が参加して欲しい。
- ・年配の我々世代の子育てはもっと自由だった気がする。
- ・子ども中心のまちづくりということですが、これほど難しいことになっていることに驚いた。

5. 地域まるごとケアを実現する地域づくりに向けたあなたの思いをお聞かせください。

- ・出来る事はお手伝いしていきたいと思ます
- ・地域住民がともに協力しあい、色々な活動ができたらいいなあ。したい。
- ・いろんな集いを行いたいと思いますが、自治会館がないのでとても残念に思います。
- ・共同、協力が必要だと思います。
- ・住民一人ひとりが隣人を気遣ってあげる。
- ・「こんなことできたらいいな」が実現できるように努力していきたい。
- ・子どもも大人も一緒になって、住み慣れた場所で生活を楽しませたらと思います。
- ・子育てと一緒に年寄りも集まれる場所があるといいなあと思いました。
- ・まずとなり近所から始める
- ・もっとたくさんの人が自分の地域について興味を持って取り組んでほしい。
- ・東日本大震災を受け、現在は気仙沼の山手のほうに居住している関係で、まだ地域の方へなじめない部分があります。そのうち、なじんでいけると思います。
- ・自分に直接関係するものだけが「自分ごと」であるワクをはずしたい。
- ・本当に大変な人にもっといろいろな事を知らせて欲しい。
- ・みんなの意見を大切に接していきたい。

6. 地域まるごとケア・プロジェクトへのご意見・ご感想などがあればおきかせください。

- ・若い方たち（子育て中の方）のお話も聞きたかった
- ・また、あったら参加したい！
- ・みんなの発想がすばらしいとおもう。
- ・これからも頑張ってください。日頃の活動が大きな力に結びつきますように。
- ・またやってくださいね。
- ・おつかれさま
- ・専門の方々のお話がわかりやすく、とても良かったです。
- ・本日はありがとうございました。
- ・存在を知らなかった。もっと広く啓蒙して欲しい。いろいろな情報をPRしてほしい。

2018年度地域まるごとケア・プロジェクト地域人材交流研修会 in すみだ 「誰もが気軽に立ち寄れる 地域みんなの居場所をつくろう」参加者アンケート集計結果

参加者総数：25名 アンケート回答数：13通

1. 研修会に参加していかがでしたか？

- a. とてもよかった 9
- b. よかった 4
- c. ぶつう 0
- d. よくなかった 0

2. 研修会の開催をどのようにしてお知りになりましたか？

- b. ちらし 2
- b. ホームページ 0
- c. インターネットの記事 1
- d. 友達の紹介 6
- e. 新聞などの紹介記事 0
- f. その他 4

3. この研修会へ参加してみようと思った理由をおきかせください。

- ・墨田区に住み、墨田区が好きになりはじめて、こういった会に参加しました。
- ・墨田区で子育てするにあたって、今後の地域のことを考えたかった。
- ・職場での紹介で。こども食堂についての勉強会のため。
- ・興味・関心のあるテーマだったので参加した。(3名)
- ・地域の活性とこども食堂の現状を知りたかった。
- ・私たちの学校で懇親会を予定していますが、どのように進行すべきか参考にさせていただきたく、参加しました。
- ・NPOとして。
- ・地域の居場所づくりに関心があった。
- ・「誰でも気軽に立ち寄れる地域みんなの居場所をつくろう」というタイトルだったから。
- ・仕事でコミュニティづくりに取り組んでいて、ヒントが欲しい、学びたいと思い参加。

4. 研修会の感想をお聞かせください

- ・大変参考になった。
- ・今までとは違う方々、いろいろな立場の方、たくさんの方と知り合えて良かった。(4名)
- ・子どもだけではなく今回よく感じました。
- ・「だんだん」などの他の地域の活動を知って良かった。
- とても楽しかったです。知らない情報が多くて参考になりました。
- ・良かった。
- ・前半はもう少し短いほうがいいかもしれません。
- ・場所やボランティア活動をしてもらえる人を集めることなど問題がとても大変。
- ・参加者の方の熱い想いを感じ、非常にためになりました。
- ・多様な立場で実践されている方々の報告と議論できて、ヒントをいろいろいただけて良かったです。人のつながりもいただきました。

5. 地域まるごとケアを実現する地域づくりに向けたあなたの思いをお聞かせください。

- ・SNSなど情報発信が大事なと思った。
- ・まずは地域の情報発信役になりたいなと感じました。
- ・人とつながりながら便利帳になれるように頑張ります。
- ・やはり共存共栄できる居場所づくりは必要だ。それとボランティアスタッフの育成。誰でもできるボランティアだと思う。
- ・まず参加することから始めようと思います。またお願いします。
- ・小さくても続けるハブ(情報)。
- ・いい考えだった。
- ・自宅で小規模なカフェをたまに開いているので、もう少し回数を増やしていきたい。
- ・老若男女がお茶を飲みながらおしゃべりができる場所をつくるのが夢です。

- ・できることをゆるくがんばるっ!
- ・場所づくりとつながる機会づくり、改めて取り組む意欲が増しました。

6. 地域まるごとケア・プロジェクトへのご意見・ご感想などがあればおきかせください。

- ・また参加いたします。
- ・こうした機会をさまざまな地域でやっていただければと思います。
- ・今後も機会を作って欲しいです。
- ・今後も頑張ってください。
- ・良い会でした。
- ・今回のようにゆるくつながれる環境を作っていただければと思います。
- ・今回の好事例、今後の活動のヒントになると思います。ネットで公開できると良いと思いました。

2018年度地域まるごとケア・プロジェクト地域人材交流研修会 in はくさん

「私たちの手で支え合う 0～100歳の地域まるごとケアのまちづくり」参加者アンケート集計結果

参加者総数：120名 アンケート回答数：64通

1. 研修会に参加していかがでしたか？

- a. とてもよかった 24
- b. よかった 33
- c. ふつう 6
- d. よくなかった 0
- e. 無回答 1

2. 研修会の開催をどのようにしてお知りになりましたか？

- c. ちらし 21
- b. ホームページ 0
- d. インターネットの記事 0
- e. 友達の紹介 4
- f. 新聞などの紹介記事 0
- g. その他 38
- g. 無回答 1

3. この研修会へ参加してみようと思った理由をおきかせください。

- ・包括支援に関心があったから。興味があったから。
- ・地区社協の役員として(5)。社協からの参加。地区・市社協から勧められた(3)。社協の参加要請(3)。
- ・民生委員として参加要請があったため。紹介があったので。勧められたから。
- ・子育て応援団の主催だが、子育て分野以外の方がたくさん参加されていて、そこだけで白山市の強みが見えた。
- ・地域まるごとというフレーズに興味をもったから。0～100歳までというフレーズにとってもひかれました。テーマに興味を持った。「ともに地域で」という言葉が気になったから。
- ・他業種の方々の活動を知る機会になると思い参加しました。子どもから高齢者の話が聞ける。
- ・地域で出来る支援を知る。(住民として)何ができるか知りたかった。
- ・地域づくりのことを考えるため。
- ・我がこと・丸ごとの政策がよく判らないので。
- ・自身も子育て中であり、活動もしている。
- ・地域、社協の会長として、何でも知りたい、経験したいという気持ちで。0～100歳の方を地域で支えて行くための取り組みを知りたかった。
- ・自分の地域では高齢者の包括は進んでいるのに、子育て世代包括は動きが全く見えない。“まるごと”で包括に取り組むためのヒントが欲しかった。少しでもプラスにできるよう。
- ・異職種の方と話をすることで、いろいろな知恵をいただけないかと思った。若い世代の方に関わっている方の意見を聞きたかった。
- ・社協で働き始めて、子育て世代から高齢世代までの地域全体が支え合って生きていく仕組みが、すごく大切だと感じたから。
- ・子どもも高齢者も障がいのある方、すべての人が暮らしやすい地域について、一緒に考えたいと思ったから。
- ・高齢者だけ、子どもただだけを越えてつながる地域づくりを考えさせられました。
- ・中先生のお話が聞きたかったから。
- ・包括支援センターの職員として今後の活動において参考になる情報を勉強したいと思ったから。
- ・職場で活かせるために。
- ・包括的視点。まるごとケアの勉強のため。
- ・子育て世代包括について学びたかった。
- ・地域の高齢化が進んでいる。
- ・民生委員児童委員の活動に役立つからと思い参加しました(2)。
- ・他団体がどんな活動しているのか知りたかった。
- ・他地区の状況を知りたいと。
- ・知らない事、わからない事を勉強したい。
- ・多数の意見、話など、困りごとを聞きたかった。

- ・地区社協でのこれから取り組む事業。
- ・これからできることがあるか？ みなさんがしておいですることも知りたいたい。

4. 研修会の感想をお聞かせください

- ・たくさんの職種の人が集まって、とてもよかったと思います(2)。
- ・期待したほどでなかったが、有意義ではあった。
- ・福祉を考えるよい機会である。
- ・地域の機能を最大限にいかす工夫、取り組みを聞くことができ、よかった。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございます。
- ・社会で発生していること、話題を知ることができて、自分の活動に活かすことが出来ることを得ることができました。
- ・(グループワークで)多職種の話が聞けたのがよかった。みなさんのいろいろな話を聞いて参考になりました。いろいろな分野の人と話せたことがよかった(6)。
- ・我がこと・丸ごとの地域共生社会について少し解った気がする。
- ・大変よかった。勉強になった。今後地域に取り入れたい。
- ・いろいろな方と交流することができてよかった。話題提供、実践者の取り組み紹介の中に参考となることがあった。
- ・まあまあよかった。良かった(2)。
- ・参加してよかった。みなさまも同じ問題を抱えている。
- ・地域の活動が聞けてよかった。
- ・子育てから高齢者までの多職種で話し合えたことがよかった。みんなで考えることは良かった。
- ・多種多様な方々とお話し出来て、よかった、よい経験となりました(4)。
- ・1部は参考になるお話ばかりでした。もっと事例も聞かせてもらえると各団体の活動をより今後の参考にできたかなと思います。2部は多様な職種や団体の方と意見を交換出来たので、短い時間でしたが、それぞれの持っているアイデアをたくさん共有出来たので、参加した意味は大きかったです。
- ・1部は短時間で盛りだくさんで、どうしても総括的な話になり具体的事例を話して欲しかった。特に子育て世代包括支援センターの取り組みの中で紹介された「家族支援」のやり方。
- ・大変いろいろと参考になった。参考になった。
- ・とても楽しい雰囲気の中で意見を交えた。
- ・まずはあいさつ。基本でありながら、できていないこと。そこからはじまるのではと考えさせられました。
- ・地域を何とかしたいと思う方がたくさんいることが改めてわかり、良かった。
- ・自分の立場が職種とかではなく、地域に暮らす一人の人として、どうあるべきか、考えた時間になりました。たくさんお方が参加し、いろいろなアイデアで話ができただけで、「白山市も何かできるぞ!!」と思えました。
- ・おやこの広場あさがおでの事例で具体的な取り組みがわかりやすかった。
- ・2部のワークでは、それぞれのお話を聞くことができて貴重な時間でした。所属は違っても思っていること、課題は似たり寄ったり。こうやって一緒に話、知恵を出し合う場が地域まるごとにつながるんだろうなと思いました。
- ・民生委員さんの苦労や実情を知れてよかった。
- ・普段は話すことのない方々とお話しでき、ネットワークを広げるきっかけになったと思います。
- ・さまざまな所属の方々が集まるグループワークはなかなか話が進まなかったけれど、実践報告はとても参考になりました。このような方が一緒に集うことが大切。顔を知る関係が大切なんですよね。
- ・グループで話題を提案できる人がいてよかった。
- ・普段からの地道な取り組みが大切である。
- ・100歳近い方が我が家で住むには地域が冷たいことが多い。現実はどういうに行かないのが現実。
- ・テーマが大きいです。具体的にひとつ一つ学んでいきたい。
- ・事例を示してお話ししてくださったので、わかりやすかったです。
- ・多分野の方々のお話を聞けてよかった。多分野の方との意見交換ができ

て良かった。

- ・後半の討論はともかく、前半の事例研修はテーマがぼけている。4つの事例報告があったが2事例でもよいのでは。
- ・私たちが真似しようと思う事があった。
- ・初めて聞く言葉もいろいろありました。中味について良かった。
- ・積極的で、具体的な事例を聞くことができ良かった。
- ・いろんな立場の方達と話し合いができて理解が深まった。人それぞれ大変だと思った。

5. 地域まるごとケアを実現する地域づくりに向けたあなたの思いをお聞かせください。

- ・各自が自分は何ができるか明確にしていくこと。
- ・各地域、個人でもやれることを実行する。(深く考えるとできない)気軽に寄り合える施設が身近に多数あるとよい。(予算運営上無理があるが)
- ・行政・地域が同じ視点で進んで行くことが大事
- ・核家族化が進み、地域とのつながりが希薄になっているのを実感している。地域の常時に子どもが参加しないなど、地域機能が低下しているのが現状。その中で、保育所が役割を果たすことができないか。地域交流の場としての機能も必要となってくるのではと思った。
- ・じわじわと深く踏み入って行きたいと思います。
- ・地域に住む一人として、地域に起こっていることに対してアンテナを高くして、情報を得る努力が必要だと思った。
- ・障害サービス事業所として何が出来るのか？ 考えていきたい。
- ・声かけ、見守り。声かけ挨拶運動。まずは声かけ(あいさつ)から始めていくことの大切さを改めて実感しました(3)。おせっかいかなと思うくらいの声かけ、見守り。
- ・お年寄りの見守り(近況の変化を見守ること)が大事だと思います。
- ・まずはあいさつ、声かけで、自ら地域に入って行く。身近な安心出来る存在になる。
- ・自分から声かけを行い、雑談、笑顔で対応する。
- ・民生委員として見守り世帯の声かけ、見守りをもう少しこまめにしようと思う。地域サロンの計画、運営に主体的に関わって行きたい。
- ・地域の人々がどのようなきっかけでつながり、またそのつながりを深めていけるかが、キーワード。
- ・家族に丸投げせず、地域力、近所力、世代間力を信じて関わり続けたいです。
- ・まだまだ世代を横に切った支援や活動が多いと思います。その世代、ジャンルに詳しい!という専門性ももちろん大切なので、多様な人たちがいかに協力して行けるかが、今後の課題だと改めて感じました。
- ・世代間交流、地域コミュニティの重要性を再認識した。
- ・まずは自分の母親から。住んでいるところから少しずつ。
- ・地域の暮らしも「まるごと」を考えているので、行政や各所専門機関も「まるごと」の体制に、もっと積極的に変わろうとしてほしいと思います。
- ・一人では何もできない。連携が大切だと実感した。
- ・自分も地域住民の一人なんだと意識出来たので、町内行事への参加をしたり、地域とつながれるようにおれたらと思いました。
- ・地域に出ている人々と話をするところから始めます。
- ・他分野他職種の方々の力を借りて職務に就きたいと思いました。
- ・ネットワークづくり。顔の見える環境を作っていきたいです。
- ・地区社協の設立に努力。地区社協が活躍していかないと行けないかも。・地区社協の活動を続けていきたいと思った。
- ・住民の思いをよく聞く。
- ・もっと身近に感じる取り組みを!
- ・今のところ私の中では理想の夢の話のようです。若い世代と高齢者の間にも隔たりを感じる毎日です。
- ・なかなか難しいと思います。というのは民生委員のなり手がなかったり、町内会の町のなり手がいないという事に感じるのですが、やはりわがことはわがこと、他人事は他人事の考えが、まだまだあると思います。なかなか我が事・丸ごとというのはほど遠いと実感してます。

むずかしい。

- ・思いやりのある、ひとり一人に応じた住みやすい地域を作っていきたい。少なくとも声かけが必要。
- ・これからも地域の為にいろいろな方の話を聞き、頑張りたい。
- ハード・ソフト両面からアプローチしている「ごちゃませ」はとても有効だと思う。
- ・協力していきたい。
- ・いずれ自分もお世話される側になると思うと、ひとごとではないと実感。それぞれが意識をもつこと、人とのつながり。
- ・地域住民と協働しての取り組み、取り組み当事者の「プライバシーなどに配慮」と資料にあります。配慮の度合い、取り組み密着度が判然としにくい。
- ・地域事業に積極的に参加して理解を深め、支援させていただきたい。
- ・地域ケアは当事者が出かけるのではなく、寄っていく事が必要では。話し合う時間が足りなかった。
- ・各世代への声かけ、言葉の参考集(例文)などがあればいい。

6. 地域まるごとケア・プロジェクトへのご意見・ご感想などがあればお聞かせください。

- ・子どものことについては、学校側の参加がないと意見交換にならない。
- ・これから考えていきます。高齢者としてどうありたいか?
- ・ご苦勞様です。勉強になりました。
- ・自分たちの専門分野だけでなく、それぞれが協力してまちづくりをしていかなければならないと実感しました。
- ・ありがとうございました。次回開催も楽しみにしています。
- ・今後も続けていただければと思う。
- ・SNSで知っていました。今回初めて参加させていただき勉強になりました。ありがとうございました。
- ・すべての人々がつながりを持ち共生出来ればいい。
- ・この機会を市で、地域で継続出来るようにしなければ。こういうことを「考えること」を繰り返していきたいです。
- ・それぞれの所属、役職はあれど、みんな地域の一人。今日がきっかけで、いろいろな人の力で支え合って、地域力がいろんなところで出てくるといふなと感じました。
- ・研修会など準備ありがとうございました。
- ・理想的なプロジェクトだと思います。
- ・子どもとお年寄りが集える場の提案をして欲しい。
- ・機会があれば参加したい。
- ・「我が事・丸ごと」言葉の意味やその大切さは解るが、いざ、どうやって実践していくのか、具体例をもう少し詳しく話して欲しかった。
- ・子どもは子ども、老人は老人という今までの仕組みから子どもから老人丸ごとという考えは素晴らしいと思いますが、マンパワーの点でどうでしょうか。グループワークはとても楽しかったです。
- ・身近な事から。まずあいさつ、声かけをしていきたいと思います。
- ・参加してよかった。
- ・「ごちゃませ」で地域を守り、子どもから高齢者まで関わり、手と手を取り、住み良い社会になれば良いと思う。
- ・今後は地域で取り組まなければいけないことがたくさんある。

2018年度地域まるごとケア・プロジェクト地域人材交流研修会 in とんだばやし 「今日からはじめる 大家族のように居心地のよい 地域づくり」参加者アンケート集計

参加者数：37名 アンケート回答者数：23名

1. 研修会に参加していかがでしたか？

- a. とてもよかった 11
- b. よかった 12
- c. ふつう 0
- d. よくなかった 0

2. 研修会の開催をどのようにしてお知りになりましたか？

- a. ちらし 4
- b. ホームページ 1
- c. インターネットの記事 1
- d. 友達の紹介 6
- e. 新聞などの紹介記事 0
- f. その他 11

(協力団体・市民活動支援センター・関係機関・利用施設などからの紹介)

3. この研修会へ参加してみようと思った理由をおきかせください。

- ・地域の文化会館をどう活用すべきか、ヒントがあればと思って。
- ・多くの人との出会いと情報が欲しかった。
- ・まちづくりを担う職種として。
- ・金剛地域、コミュニティーづくりに積極的な人々と情報共有、また今後に向けてのヒントがあるのではと思い参加した。
- ・「大家族のように暮らせる場所作り」の趣旨に賛同して。(2名)
- ・興味があった。地域づくりに興味があったので。
- ・地域の方の意見をきいてみたかった。
- ・パネラーに顔見知りが多く何を語るか聞きたかった。(2名)
- ・金剛地区ですと住んでいくために、(今はまだ若い地域だけれど) 将来、良い地域にできるようヒントがもらえたらと思っ。
- ・金剛地区のまちづくり活動を知りたくて。
- ・子育て応援の勉強になると思ったから。
- ・子どもに対しての支援に役立つと思ったので。
- ・コミュニティーソーシャルに興味があったのと、自分の暮らす場所がさらに住みやすくなればと思って。
- ・居場所づくりにたずさわる仕事をしているので、考える機会になれば良いなと思った。
- ・身近なところでのとりくみであり参加させていただいた。
- ・職業柄、地域づくりを考えていく立場で、研修会へ参加することで様々な意見をきける機会になると考えたから。
- ・自分の仕事に深く関係する内容であったため。
- ・今後の自分への課題(仕事も含め)。
- ・一時保育もあり内容にも興味があったから。

4. 研修会の感想をお聞かせください。

- ・思った以上にディスカッションができ、知らない活動をたくさん知ることができた。
- ・良い時間だった。
- ・金剛地区を始まりとして、市内全域に広がるプロジェクトになって欲しい。
- ・みなさまそれぞれの想い、アイデアがあり新たな発見がありました。
- ・後半のワークショップも色々な方のご意見が聞け、とてもよかった。
- ・皆さんのお話が聞けて良かった。
- ・関係機関の方が多く、地域の方が少なく残念だった。地域づくりを考える機会になる良い内容だったので、より広く周知できればよかったと思う。
- ・研修というより交流は幅広く頻度多くが良いと思う。
- ・途中からの参加でしたが、さまざまな人とお話しできてとても楽しかった。
- ・色々な分野の方々が来られていて、お話をきけて本当によかった。
- ・とても勉強になった。
- ・自分の知らない分野の方々の考えや理想が聞けて勉強になった。
- ・いろいろな情報と人に出会うことができた。

- ・色々な立場でたくさんの方が意見を持っていらして勉強になった。
- ・様々な部門の方から話を聞け、自分のできることを考えることができた。
- ・“居場所づくり”で自分ができることを改めて考える機会をもつことができた。また、今まで知らなかったことを知ることができた。
- ・羽曳野市でもこうしたとりくみができるようにしたい。
- ・色々な立場の方の思いや意見を聞かせて頂けてとても参考になったのと、自分が何かをするきっかけを頂ける機会となった。
- ・新たなつながりづくり。顔の見える関係づくりにつながり、有意義な時間となった。
- ・いろんな人と出会うきっかけになった。地域のイベントなど、いろんなことを知ることができた。
- ・色々な立場の方が集まって、意見を交換しあう場に参加できたので良かった。

5. 地域まるごとケアを実現する地域づくりに向けたあなたの思いをお聞かせください。

- ・こういった会32を持続していくという事も大変ですが、大事な事かと感じました。
- ・具体的に出来ることをしていきたいと思っています。
- ・子ども(子育て)のみならず、アウェイをホームに出来る町づくり(コミュニティづくり)が出来れば素晴らしいと思います。
- ・一つの方向(地域まるごとケア)に向かって様々なメンバーが力を合わせて取り組む事、また地域の声に寄り添う事が大切だと思います。
- ・子ども、高齢者だけでなく、障害児(者)、ひきこもりの方たちもケアできる場所作りがしたい。
- ・富田林は東西に異なった文化をもつ素晴らしい地域です。是非発展して欲しいと思います。
- ・地域づくりは1日ではならず、地道につづけることが大切。
- ・富田林でぜひ実現したいですね。
- ・このような市民の交流・連携に加え、行政(予算、決算、条例 etc.)の作成)が市民に開かれる方向で運動とのバランスが必須。
- ・自分のできることはどんなことなのか考えるきっかけになりました。知ることの大切さを知りました。
- ・今から自分にできることを実行していきます。
- ・顔の見える間がらになって(もっと)いきましょう。
- ・金剛地区活性化に東西交流を活用できるのでは。
- ・自分にできることを小さくてもやってみようと思う。
- ・地域まるごとはすぐに難しいが、少しずつ、少しずつしていけば実現することかなと思う。
- ・地域包括ケアを全世代対応型とする仕組みを構築する。
- ・ひとつの機関としてだけでなく、ひとりの自分として地域づくりに参加したいと思います。
- ・まるごとケアを実現したいと考える人の思いを肯定的に受け止めサポートしたい。
- ・まずは外へ出る!!

6. 地域まるごとケア・プロジェクトへのご意見・ご感想などがあればおきかせください。

- ・情報を取りたいと思っています。
- ・このようなプロジェクトに参加できてよかったです。
- ・今日はとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・また情報下さい。
- ・とてもいい場だったと思いました。テーブルごとに進行役の方がいてくださったので話がしやすかったです。
- ・富田林でもっと今回のような研修会をお願いします。
- ・新たな取り組みに敬意を表します。
- ・とてもすばらしいプロジェクトだと思います。
- ・富田林に約10年住んでましたがこの様な集まりがあるのは今年初めて知ったので、広報とかでも載せてみては良いのではないのでしょうか。

2018年度地域まるごとケア・プロジェクト地域人材交流研修会 in おおのじょう 「地域でどう支える？ 育児と介護の同時進行＝ダブルケア」参加者アンケート集計

アンケート配布総数 80名 アンケート回答数 54名

1. 研修会に参加していかがでしたか？

- a. とてもよかった 39
- b. よかった 14
- c. ふつう 0
- d. よくなかった 0
- e. 回答なし 1

2. 研修会の開催をどのようにしてお知りになりましたか？（複数回答可）

- d. ちらし 24
- e. ホームページ 1
- f. インターネットの記事 1
- g. 友達の紹介 6
- e. 新聞などの紹介記事 3
- f. その他 22

3. この研修会へ参加してみようと思った理由をおきかせください。

- ・高齢者支援を行っているが、子育て支援の情報を知らない。今後ダブルケア問題に取り組む必要が出てくるので、役に立つのではと思った。
- ・ケアマネ業務に活かしていくため。
- ・生活支援コーディネーターの業務と関わりがあると思ったから。普段、高齢者のことが中心の業務なので、子育てについても今の状況を知りたいと思った。
- ・子どもに関する研修会なので、参加してみようと思いました。
- ・身近なことなので参加しました。
- ・ダブルケアの事例にかかわったことがない為。
- ・今後ダブルケアの問題が地域から増えてくることが予想され、現状や知識など、知らないことが多かったため。実態や実際に経験された方のお話を聞きたかったので。最近の状況を知りたいと思い参加しました（5名）
- ・子育てしながら親の介護もしている人が多いということを初めて知って、勉強しようと思ったから。
- ・仕事で相談を受ける中で、ダブルケアで悩んでいる方がいたため、勉強したいと思いました。（3名）
- ・地域で役をやっているので勧められた。
- ・自分自身も母の介護について考えているところ。夫の両親が高齢で、子どももまだ2歳～9歳が3人いるので、いつダブルケアになっても大丈夫なように勉強したいと思い参加しました。親が物忘れが酷くなって来て、危機感を持った。（6名）
- ・私自身、ダブルケアの当事者であるため。ダブルケア中で勉強したかった。（3名）
- ・当事者の声を聴きたかった為。
- ・知人に親と孫の介護をやっている人がいる。
- ・もともとダブルケアに関心があった。（5名） ダブルケア、ヤングケアラー、介護離職はとても関心があった。
- ・「ダブルケア」という言葉を最近よく見かけるようになり、福祉機器のメーカーとして、何か皆様の役に立てることはないか、また、今後のものづくりのヒントになるものはないか、当事者の方や経験者のお話を聞きに参りました。
- ・福祉のことについて学びたいので。
- ・ダブルケアという聞き慣れない言葉が気になり、地域でそのような方をどうにかたちで支援をしているのかを知りたいと思ったから。
- ・子育て世代から高齢者まで広い世代を含んだ関係者の方々につながるのではないかと。思って。
- ・介護に対して漠然として不安があったため参加。自分が高齢になったときに、子どもに介護で迷惑をかけたくないという重いが強かったため。介護離職はしたくなかったため、勉強のため。
- ・内容がよくわからず参加。ダブルケアという言葉が知らなかった。（3名）
- ・学生の引率ということもありましたが、自分自身が母の介護で困っていること、この問題は個人的な問題ではなく、社会的な問題だろうと考えて

いるので、勉強したいと思い、参加しました。

- ・孫が生まれ、大野城市の子育てに興味を覚えた。
- ・地域づくり、まちづくりには切っても切り離せないテーマでした。
- ・地域で何ができるのか、考えていく知恵のため。
- ・子育てママ推進プロジェクトで介護についての知識、展望が不足していると指摘があったため。
- ・新しい取り組みで初めての研修会だったので。
- ・地域で共生型社会に興味があり、育児の資源や課題を知りたかった。
- ・チャイルドケア代表のお話を伺って。勧められた。（2名）
- ・自分は高齢で出産したので、自分のことのような気がして参加。また、今後職場復帰（福祉関係）したいので、学びたかった。

4. 研修会の感想をお聞かせください

- ・この研修で「ダブルケア」という言葉を初めて聞きました。
- ・思った以上にダブルケアが多かった。
- ・いろいろな人の話が聞いて良かった。いろいろな立場からの意見を聞くことができよかったです。とても為になる。（12名）
- ・パートに出るとい話は新鮮だった。面白かったです。
- ・ダブルケアについて知らなかったため、事例を聞いて良かったです。わからないことがこんなにあった。（2名）
- ・ダブルケアがどういう問題かがよく分った。表面化しにくいことだが、もっと当事者の方の話を聞いてみたい。グループワークの中で、いろいろな立場の方の話が聞いて、充実した時間でした。男性がもっと多いといいですね。（参加者）
- ・子育て支援のサービスについて何も知らなかったため、知ることができてよかったです。
- ・現状や今後考えられる問題について知ることができ、参加してよかったです。
- ・実際に子育てや介護をされている方から話を聞いたことがよかったです。（2名） 支援者もある一面から見て判断するのではなく、多面的な支援をしたいと思いました。
- ・経験談が一番身にしみました。ダブルケアの人は大変だなあと思いました。（2名）
- ・当事者の話にとっても共感した。
- ・我が家ではダブルケアは幸いにないが、考えてみると町内にもダブルケアの家庭もあり、気になりました。
- ・グループワークで自分の経験や気持ちを話すことができ、吐き出すことができ、楽になった。いろいろな方のお話を聞いて、自分だけではないんだと元気をもらいました。
- ・具体的な事例や意見を知ることができてよかったです。楽しかったです。
- ・ダブルケアの家族の状況以外でも、こういったサービスがあるんだと目からウロコの内容がたくさんあって大満足です。
- ・ダブルでなくても介護に力を入れて欲しい。
- ・自分の住んでいる市が、もっと住みよくなるよう、こういう機会に意見交換をしていくことが大事だと思った。
- ・とても参考になりました。（4名） 自分自身の世界もさらに広がった気がします。
- ・ダブルケアのことについて学べてよかったです。育児と介護だけではなく、さまざまなダブルケアがあり、一人ではどうしようもならないと思うので、支援する人がいたり、視点してもらえるところがあるところをもっと広がればと思いました。
- ・ダブルケアについて、その名だけは存じておりましたが、具体的、定量的にお話を伺って、勉強になりました。また、大野城市内での行政・社協さん他のみなさまのお取り組みを知ることができました。しかし、いざ現実になると、活用できるかどうか。
- ・短時間でもグループワークで盛り上がるのができて良かったです。
- ・私の親もそこそこの年齢で、子どもができたときに介護をしないとけないと思い、他人事ではないと改めて実感しました。（2名）
- ・ダブルケアについては、身近に悩む方も多く感じた。（あまり意識していなかったが）今まであまり見えていなかったと感じました。
- ・子育てに関するサポート制度はいろいろあることを知っていたが、介護

についてもいろいろなサポートがあることがわかった。これからの生活の参考にさせていただきます。

- ・授業でもケースワークの勉強で、事例の対応の演習を時々やりますが、学生なのでアイデアが非常に限られているので、さまざまな分野で仕事をされているお話を聞いて、勉強になりました。
- ・地域資源の情報収集ができました。(2名)
- ・すぐには結論は出なくても、必ず誰しも直面する課題なので、息の長い活動・支援が必要だと思いました。
- ・自分にとっても(プライベート)、今後できること(仕事上でも)につながるいい勉強になりました。
- ・わかりやすく大変よかった。わがまちの役所の方々にも聞いて欲しかった。
- ・介護のことはぜんぜん知らなかったの、いざ自分の身に降りかかったときにどう動いたらいいのか、分かりました。(2名) 夫と共有し、どうするか話し合いたいと思います。
- ・ダブルケアの説明が長く、事例も読めば分かったの、最初の30分は短めでもよかったと思いました。
- ・このような情報交換の場の回数がたくさんあれば良いと思います。近所の方にも声がけができることと思います。
- ・地域に帰り、参考にしていきたいと考えています。

5. 地域まるごとケアを実現する地域づくりに向けたあなたの思いをお聞かせください。

- ・行政も縦割りではなく横のつながりを本気で考えて欲しい。たらいまわしのような状況にならないようにと思う。自分のことだけでなく、他の立場の人のことも知ることで、よい地域になればと思う。
- ・介護、医療面でも地域包括ケアシステムというものがあります。子育てのことも当てはまるので、介護・医療だけでなくインフォーマルサービスをすべて関わらせていけるようになればいいなと思う。
- ・社会資源をもっとよく知っておきたいです。その上、足りないことは地域の中で生み出していくような活動につなげたいです。
- ・実際にダブルケアを行っている生の声を聞き、当事者の方の不安を少しでも軽くできるよう、相談に乗っていきなりたいと思った。
- ・地域でやっている子育てケアと高齢者ケアを合同でやることもダブルケアになると感じた。
- ・自分の住む地域の支援センターのアピールを活発にして欲しい。
- ・地域で見守ったり、公民館での子どもたちの居場所を作って欲しい。
- ・ダブルケア当事者を地域にネットワークの輪が広がることが大切だと思います。自分もその一翼を担いたい。どこでそれを発揮すればいいかわからないので、教えて欲しい。
- ・実現して欲しいが、自分から踏み出せない人もいる。背中を押して欲しい。
- ・不安を安心に変えるサポート体制が整えばよいなと願っています。
- ・困ったら手助けする。
- ・いろいろな形での発信があり、〇〇になる前に知識を持つことが大切だと思いました。
- ・大きな窓口をひとつ作り、細かなケアをしていって欲しい。
- ・具体的にすぐということはないかもしれませんが、メーカーとしてご協力できることはないか、アンテナを張っておきたいと思います。
- ・福祉のことについて知らないと、助けて欲しいと声をあげることも、相談されたときに地域の資源につなげることは難しいと思うので、いろんな人が知って広げればと思います。
- ・グループワークで「どこに相談してよいかわからん」という意見が多くありました。そのため、今回のように“つながる”“知る”機会が必要だと思いました。
- ・よいことですね。(2名) 実現を期待しています。
- ・子育て・介護はひとり、1家庭ではなく、地域で対象の方を支えていけるようになるよなと思います。
- ・地域づくり、他団体。いろいろな関係者がつながることは今後の課題(これからの)
- ・今まで知らないことが多すぎました。これからはいろんなところに目を

向けていきたいと思っています。

- ・孤独死やごみ屋敷、虐待、隣人トラブルなどは地域が崩壊したことで加速して行っているように思っています。地域のつながりをいかにつくっていくかは、日本の最大のテーマではないかと思っています。
- ・近所付き合いをしていないと、いざとなったとき、頼むことができないので、日頃から親しくしていることが大切だと思いました。
- ・地域ももっと、今まで以上に密着しようと思いました。(2名)
- ・高齢者が多くなるので、介護者の負担が軽くなる地域づくり。子どもも参加できる地域まるごとケアが出来上がったらいいですね。
- ・自分のできることは小さいことでも顔の見える地域づくりに向けて参画していきたいと思っています。
- ・第三者が出来ることをできる分だけ。少しずつつながって力を発揮できるシステム作りがしたいです。
- ・地域にちょっとしたことで頼める環境づくりや、ある支援の情報発信。高齢者、障害者、子ども、それを支える世代、すべての地域包括ケアシステムづくりの必要性を感じた。
- ・支援者養成、楽しみにしています。痛みのわかる方が必要不可欠です。
- ・わがまちにも地域まるごとケアシステム、ダブル相談窓口、つくります。
- ・理解をする人を増やすこと。
- ・子育ても介護もやはり地域とのつながり、そしてお互いの立場を知り、寄り添うことが大切だと思います。私にできることからやっていきたいです。
- ・何かできることがあるならば、ボランティアさせていただいたら嬉しいです。
- ・困っていること、手伝えることの見える化は大切だと思いました。
- ・ひとごとと捉えず、自分のことだと。
- ・このような研修に多くの方が参加されるのは、とってもいいと思う。
- ・私は義母、孫、子どもたちのケアと、三世代の世話などの時期がありました。みなさまも頑張っていっていただきたいと思っています。手を抜くことも考えてください。
- ・今後、高齢者と育児、障がいの資源を共有する。(家事援助、集いの場) そのためにも、行政の他部署同士の連携が必要。
- ・高齢者の支援が中心でしたが、介護する家族も楽しく過ごせるよう、まずはたくさんの知識と情報を身につけたいです。
- ・「ゆりかごから墓場まで」ではないですが、自分の住み慣れたまちで歳をとっても笑顔で生きていける(介護状態になっても)社会になればと思います。
- ・もっと地域に広まり、介護も子育ても両立して、みなで助け合っていると良いと思います。
- ・何かしら関わりたいと思いつつ、仕事が終わって返って寝るだけの場所になっていたの、どうにかしたいが、よくわからない。

6. 地域まるごとケア・プロジェクトへのご意見・ご感想などがあればおきかせください。

- ・本当に地域まるごとで取り組んでよい地域、住みやすい地域にしたい。
- ・今日は貴重な体験ができ、さまざまな意見が聞け、大変良かったです。
- ・人ごとで終わらないで欲しい。
- ・回数を重ねることで、たくさんの方の意識を変え、たくさんの支援者を産んでいくと思います。こういう研修会が各地で行われると、みんなの意識が変わって行くと思いました。(2名)
- ・今回の交流研修に参加したいケアマネ、介護職の方がいましたが、月末(介護職にとっては最も忙しい)の開催で断念されてました。託児されてる方もいます。定刻で終了されるともつよいなあとと思います。
- ・年長の社会になるので、ケアプロジェクト期待しています。
- ・みんなが手を取り、同じベクトルの向くほうに行けたらいいなと思います。
- ・お話しの中にもありましたが、子どもの問題は子ども関係の人のみ、高齢、障害者と縦割りで研修があることも多く、横をつなぐ研修がないので、このような取り組みが大切だと思いました。
- ・ぜひまたこのような機会があれば参加したいです。いろんな立場の方の思いや意見がうかがえてよかったです。ありがとうございました。(3名)

- ・グループワークにより、知らないことを聞かせていただき、現実を受け止めながら日々の生活に励んでいきたいと思えます。
- ・グループワーク楽しかったです。
- ・水が流れるがごとく、進めて、続けていただきたい。
- ・多様性、ママ三世代、地域の方を交えて協議してグループワークが行えて、知らない情報の入手が得られ、新たな気づきができた。
- ・次の研修にも取り組んでください。時間が多少長過ぎるのでは？
- ・高齢者のみ、子どものみでなく、地域まるごとケアって言う取り組みはとても素晴らしいと思えます。
- ・ダブルケアで困っている方がいたら相談させてください。
- ・このような研修会を福岡市でもしてください。

